

## 「クルーズ・シンポジウム in 境港」を開催しました

去る8月8日、境港市竹内団地内の夢みなとタワーで「クルーズ・シンポジウム in 境港」を開催しました。

今回のシンポジウムは、国土交通省中国地方整備局と境港管理組合が主催し、クルーズ振興を通じた地域の活性化をテーマに、クルーズ専門家や地元代表者に意見交換等していただきました。

会場は満席となり、約220名の参加者が、クルーズ船の寄港を地域活性化につなげる話しに耳を傾けました。

冒頭に、境港港湾管理者 平井鳥取県知事が「海を越えて多くの国々のみなさまで賑わう境港で、クルーズ振興を通して山陰が生まれ変わる、その切っ掛けのシンポジウムになれば」とあいさつ。

続いて、赤澤亮正内閣府副大臣、舞立昇治参議院議員、国土交通省大臣官房 下司技術参事官にあいさつしていただき、みなさまから境港がクルーズを通じて、ますます地域が発展してほしいとの話がありました。

基調講演では、JTB グローバルマーケティング&トラベルの大熊義孝部長から「クルーズ寄港地に求められる魅力と取り組むべき課題」と題した基調講演があり、「日本の伝統が残る美保関神社や独特な線形を持つ江島大橋などをツアーに組み込むことにより、他港とは違うユニークな体験を提供し、独自性を強めることが集客の鍵」と助言をいただきました。

パネルディスカッションでは、株式会社山陰中央新報社 特別論説委員の前田幸二氏にコーディネーターを務めていただき、大阪大学大学院の赤井伸郎教授、JTBの大熊義孝部長、マーキュリートラベル株式会社の東山真明代表や境港青年会議所の木村光哉理事長が、「クルーズ振興を通じた地域の活性化について」をテーマに、各々の立場からの意見や分析が語られ、クルーズ船の寄港を地域振興に結びつける多くの提案をいただきました。

閉会に先立ち、国土交通省中国地方整備局の丸山局長から挨拶し、盛況のうちにシンポジウムを終えることができました。



基調講演 大熊義孝部長



シンポジウムの状況



平井伸治鳥取県知事



赤澤亮正内閣府副大臣



舞立昇治参議院議員



丸山中国地方整備局長